



雪椿 かわら版

＋飯山赤十字病院の基本理念

人道・博愛の赤十字精神に基づき、患者さん中心の地域に密着した医療を実践します。

《 病院の基本方針 》

- 1.患者さん一人一人を大切に、思いやりのある医療を行います。2.安全で質の高い医療を提供します。
- 3.近隣の医療、保健、福祉施設との連携を推進します。4.高齢社会に即した在宅医療、予防医療に積極的に取り組みます。5.救急医療、災害救護、講習会等普及事業に積極的に取り組みます。6.明るく働きがいのある病院を目指します。

《 私たちは次に掲げる患者さんの権利を尊重します 》

- 1.人としての尊厳が守られる権利 2.プライバシーが守られる権利 3.安全で適切な医療を受ける権利 4.望まれる情報提供と、納得のいく説明を受ける権利 5.自分が受ける医療を選ぶ権利

《 患者さんへのお願い 》

- 1.適切な医療を受けるために、健康状態など詳しい情報をお知らせください。2.医療行為については、納得された上で医師や看護師等の治療方針にご協力ください。3.他の患者さんの治療に支障を与えないようご配慮をお願いします。

2021
令和3年

108

10月号

- 発行／飯山赤十字病院
飯山市飯山226-1
電話0269-62-4195
ホームページ
<http://www.iiyama.jrc.or.jp/>
- 発行責任者／戸谷 浩久
- 印刷／南中央堂印刷社



○長野県須坂看護専門学校の学生さん



特集

P4

救護班と浸水対策について

- P2 2021 年度 飯山赤十字病院 運営協議会報告
- P6 地域のお医者さん⑥ (畑山医院)
- P7 寄付贈呈式／世界アルツハイマーデー／相談窓口
- P8 外来診療担当医表

CONTENTS

2021年度 飯山赤十字病院 運営協議会報告

院長 岩澤 幹直

令和3年8月3日、飯山市の足立市長をはじめ、中野市、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村、栄村の首長および議会議員、そして飯水医師会長にご出席いただき、令和3年飯山赤十字病院 運営協議会が当院会議室で開催された。



現在、新型コロナウイルス感染禍にあるが、2025年に向けて地域医療はおおきな変革の時にいたっている。少子高齢化・人口減少、医師偏在に加えて2024年には医師の働き方改革も始まろうとしている。医師の過労死が大きな問題となったあと、医師の健康保護のために、労働時間に制限をもうける施策が開始されることで、診療供給体制に今後の大きな変化をもたらすと予想される。

本日の協議会では飯山赤十字病院の現況と課題を共有していただき、今後の飯山赤十字病院のあり方を皆様と考える機会としたい。

令和3年4月以後の取り組み

令和2年10月、長野県からの指定で新型コロナウイルス感染症重点医療機関として、6～10床即応病床と振り分け外来、行政検査など委託された。3東階病棟を一時閉鎖して、2階東病棟に専用病床を準備した。熊部呼吸器科部長、藤本救急部長を中心として新型コロナウイルス感染対策チーム、コロナユニットチーム、外来チームなど病院全体で対応体制をとった。

令和3年5月9日時点で、当院は入院患者82名、外来患者2335人に対して治療と検査をおこなった。入院数、外来患者数は長野県内の赤十字病院で最多であった。また院内感染の発生なく対応できているのは、職員一同の努力に負うものである。9月の現

在、国内は第5波のなかにあり今後この感染の収束には時間を要すると思われる。



【レッドゾーン】 左側4陰圧室 右側隔離室2名



陰圧室内の様子



換気装置のある隔離スペース

5月からは飯山市の新型コロナワクチン集団接種に飯水医師会と共に協力してきた。飯山赤十字病院からは、医師1名、薬剤師1名、看護師1名、の構成で各職種複数の職員が交代で参加して、平日に約100～300人の接種を行った。1ヶ月では医師は研修医も含め延べ19人、看護師延べ19人、薬剤師も延べ19人が協力して接種を実施した。予防接種の実施経過は、8月末で高齢者の2回接種は希望者の91%終了、65才以下も1回接種は48%終了して順調な進捗であった。7月からは当院の訪問看護を受けている中でのワクチン接種希望患者は8月で予定を終了し、入院中で動けない患者さんへのワクチン接種も実施した。地域での感染拡大や院内感染の抑制にも効果があるものと考えている。



飯山市 飯水医師会 飯山赤十字病院チーム(医師1名、看護師1名、薬剤師1名) 5月6日から平日約100人の接種を担当

6月には、令和3年度救護班の任用式を行い、新たな2個班を編成した。1班が複数職種7名からなる自己完結型のチームとなっている。新救護班員を代表して中西整形外科部長が決意表明をおこなった。長野県には6つの赤十字病院と16救護班が組織されており、長野県支部の指揮下に被災地救護に出動できるよう準備されており、当院も出動準備を整えることができた。

初期研修制度協力も当院の責務のひとつである。今年も6月から12月の間に、伊勢赤十字病院、長岡赤十字病院、姫路赤十字病院から13名の2年目初期研修医が地域医療研修プログラムをうけるため、当院へ赴任している。各人3～4週間当地に滞在し行うプログラムで、当院で救急外来診療や訪問看護など指導医のもとで研修する。当地の高齢化率は39%で、すでに2060年に日本が達する高齢化率を具現している。当地では高齢者の医療について多くのことを学ぶ機会となる。



初期研修医教育プログラムで地域医療が必須化されており、複数の赤十字病院と協定を結んで、地域医療研修を担当しています

飯山赤十字病院の課題

直面する少子高齢化・人口減少・医師偏在

過去6年の患者推移を見ると、外来患者は平成27年新患者数11,811人、から令和2年7,198人、入院患者は平成27年新入院患者2,718人、令和2年2,365人へと減少傾向がつついている。病院財務状況については、患者減を反映して医業収益は平成28年約39億7千万円から令和2年約37億8千万円へと減少した。医業収支は直近5年間毎年4億から6億円の赤字決算がつつき、借入金残高は約39億円となった。

常勤医師の減少が続き20名前後となったため、稼働額も減少してきた。従来どおりに外来維持のためや土日の宿直のために多くの非常勤医師に依存するようになった。平日外来診療を維持するため月約

40名、通年で延べ1,609名の非常勤医師に頼っている。土日休日の時間外診療も、年間延べ192名の非常勤医師で維持されている。これらが、医業費用のうち人件費率が80%を超える一因となっている。今後常勤医師の取り組みによる稼働の増加と非常勤医師の適性化と給付の見直しなどが経営健全化のための課題といえる。本社支援チームと共に取り組んで進めていきたい。卒後研修システム、専門医研修制度が整備されるとともに、患者が多い都市部の病院に若い医師が集中し、基幹臨床研修病院でない地域医療を担当する病院には若い医師が集まらない傾向が続いている。大学、市や県奨学生や他病院プログラム研修中の後期研修医などがローテートする研修病院となるよう働きかけを続けていく。

外来診療機能を見ると、1日に10人以下の受診患者数の診療科も存在し、診療継続の必要性も再検討しなければならない。

へき地での高齢者医療や救急医療の維持には、医療機関の努力だけでは限界があり、自治体による医業収支への補填増額の必要を認識していただけるよう説明をつづける。当院は地域医療構想のもと、急性期から回復期そして介護機能を分担する計画である。さらに進行する高齢化、人口減少のなか医療ニーズへの対応だけでなく、介護ニーズも視野に入れて今後の飯山赤十字病院の姿を考えなければならない。

患者さんに選ばれるための当院の取り組み

1) 新型コロナウイルス感染症の診断と治療

熊部呼吸器科部長が当院での新型コロナ感染症治療の経験について口演した。

2) 膵臓や胆道の病気をもっと身近に(消化器内科の紹介)

渡邊消化器科部長が内視鏡による診断治療、超音波内視鏡やMRIによる膵がん早期発見の取り組みについて口演した。

3) 一次脳卒中センターの現状と今後の展望

兒玉脳神経外科部長が、当院一次脳卒中センターでの血栓溶解治療より、地域住民の脳梗塞予後改善への取り組みについて口演した。

出席された自治体代表の方からの質疑応答をおこなった。

以上をもって令和3年 飯山赤十字病院 病院協議会を閉会した。

特集

救護班と浸水対策

について



いつ起こるか分からない災害に、迅速な対応を行う救護活動は、赤十字病院の大きな使命になります。日本赤十字社では、災害対策基本法により「指定公共機関」に規定されており、災害救助法においては、国及び都道府県等の救助活動に協力する義務が規定されています。

これらを踏まえ、日本赤十字社では、救護業務を次のとおり定めています。

- (1) 医療救護
- (2) こころのケア
- (3) 救援物資の備蓄及び配分
- (4) 血液製剤の供給
- (5) 義援金の受付及び配分

(日本赤十字社が受付を行った義援金は、被災地の都道府県等に設置される義援金配分委員会を通じて被災された方々へ配分されています。)

- (6) その他応急対応に必要な業務

過去3年間の主な国内災害救護

2018 (平成30年)	大阪府北部地震災害 平成30年7月豪雨災害 北海道胆振東部地震災害
2019 (令和元年)	令和元年8月豪雨災害 令和元年台風第15号災害 令和元年台風第19号災害
2020 (令和2年)	新型コロナウイルス感染症対応 (クルーズ船への救護班の派遣等) 令和2年7月豪雨災害



令和2年7月豪雨災害で巡回診療を行う救護班



令和元年台風第19号災害で傷病者を搬送する救護班 © Atsushi Shibuya/JRCS



令和元年台風第15号災害で打ち合わせを行う救護員

当院の救護班について

医療社会事業課長補佐 柳 尚茂

主な取り組みとして、災害による被害が発生し、救護が必要だと判断される場合や被災地都道府県等から要請があった場合には、直ちに救護班等を現地に派遣します。

令和2年4月1日現在、全国91カ所の赤十字病院をはじめ、委託協定を結んでいる公的病院等に常備救護班486班(4,328人)を編成しています。

当院における救護班は、医師1名、看護師長1名、看護師2名、薬剤師1名、主事(事務)2名の7名を1班として編成し、近年の活動では、「令和元年台風第19号災害」に飯山市内において、浸水・氾濫の危険があり、城南中学校と飯山市中央公民

館に設置された避難所に救護班1班(9名)を派遣し、避難された一人一人の方に声をかけながら、健康状態の確認や巡回診療を行いました。避難所では、体調面に不安のある方を救急搬送で受け入れるなどの救護活動を行いました。また、この台風19号災害では長野市地域にも救護班1班(7名)と、こころのケア班1班(3名)を派遣し、それぞれ3日間の救護活動を行いました。

今年度は5月31日に、救護班2個班、計14名が赤十字の救護服に身を包み、岩澤幹直院長から任命書が一人一人に新たに手渡されました。岩澤院長からは、「災害救護活動は近年、多くの災害が発

生しているため、大変重要な役割を担うので、赤十字精神のもと、自覚を持って活動して欲しい。」との激励の言葉がありました。

これを受け、救護班代表として、第1救護班班長の中西芳応医師から、「赤十字の基本原則に則り、この任務の重要性を認識し、自己研鑽に励み、救護活動はもとより、各種災害訓練等にも積極的



医師・看護師・薬剤師・事務など7名1班 自己完結型チーム

に参加することを、ここに決意表明いたします。」との表明がありました。

当院の浸水対策について 施設課長兼医療社会事業課長 金子 正弘

「災害は忘れたころにやってくる」使い古された言葉ですが、私達が暮らす日本では、ここ数年、毎年何かしらの災害に見舞われています。

記憶に新しいところでは、令和元年10月12日に日本列島に上陸した台風19号は、東日本から東北地方を中心に広範囲で観測史上最大となる大雨を降らせ、飯山市においても、千曲川の水位が立ヶ花水位観測所で12.46m、飯山水位観測所で11.10mに達し、それぞれ過去最大となる水位を記録し、千曲川の支川である皿川が氾濫し、飯山市街地が浸水、千曲川沿いの一部地域でも氾濫被害が発生し、市民1,411名が避難、人的被害は死者（災害関連死）、重軽症者計6名、家屋及び事業所浸水被害は806件と甚大な被害をもたらしました。また、本年8月大雨でも市内全域に高齢者等避難が発令されました。

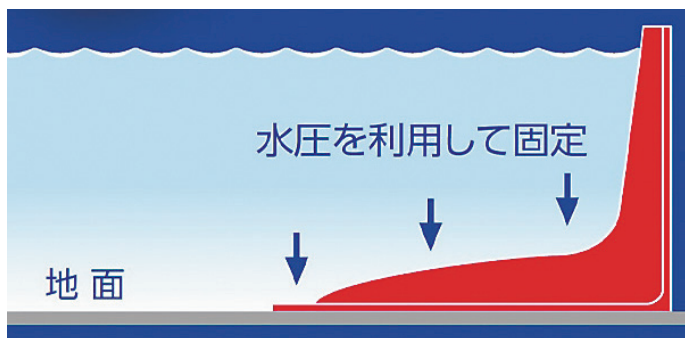
このような状況下で、当院は浸水時の事業継続計画（BCP）を策定中であり、その対策の一環として病院本館及び付属棟の出入口用として、止水板を整備しました。この止水板は水の自重（水圧）

によって地面に固定され、50cmの高さまでの水を堰き止めることが可能です。また、設置に工具が不要で軽量であるため、夜間・休日等の緊急時でも少人数で設置可能であるメリットがあります。

しかしながら、千曲川本流の堤防が決壊した場合には、6.7mの浸水が予想され（国土交通省川の防災情報、地点別浸水シミュレーション（浸水ナビ）参照）、当院は2階まで浸水することから、3階以上への垂直避難、移動を想定した対策も前述のBCPに盛り込み、止水板の設置と併せて水害時の避難訓練も計画中です。この他にもライフライン（電気・水道等）対策、物資の確保など課題はありますが、「災害は必ずやってくる」を心掛け、より良い対策を講じてまいります。



[止水板]



地域医療連携

症状が安定したら
かかりつけ医へ

開業医 ←

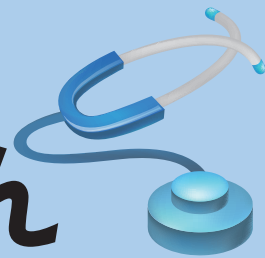


専門的な治療が必要
になったら当院へ

→ 当院

地域の医療機関が協力し合う医療体制

地域のお医者さん



畑山医院

診療科目：内科・循環器内科・小児科
〒389-2253 飯山市飯山949
TEL 0269-67-2888
FAX 0269-62-4159



診療所玄関

●医師を目指した理由

私は幼少の頃より運動が好きでした。

小学校の頃は暗くなるまで校庭で友達と野球をして遊び、冬はスキーに熱中していました。そのために、ときとして怪我をすることもあり、またよく風邪を引いたため、その度にお医者さんに連れて行ってもらいました。その時のお医者さんの診察・治療をする姿は、小学生の子供にとってはまさに驚きであり、憧れでした。その頃から漠然とお医者さんになれたらな・・・と思ったような気がします。



はたやま やすのり
畑山 靖典

●地域の方にひとこと

現在新型コロナ禍真ただ中の世の中で、地域の皆さまもストレスが多く、体調が優れない方も多いため、何か体に心配がある時は気軽に受診してください。今後も、医師として少しでも皆さまの助けになればと願って日々診療していきたいと思えます。

●最後に

飯山赤十字病院の先生方、スタッフの皆さまには日々の診療において紹介患者さん、救急患者さんのお願いを快く引き受けていただき感謝しております。今後もよろしくお願い致します。

●開業までの経緯

東京の大学病院では内科・循環器科を専攻し、認定内科医・循環器専門医の資格をとり、医学博士号も大学よりいただきました。その後、高校まで生活した生まれ故郷である飯山に何としても帰り医療を続けたい、と思い1995年に生地にて新規開業しました。

●医院の特色

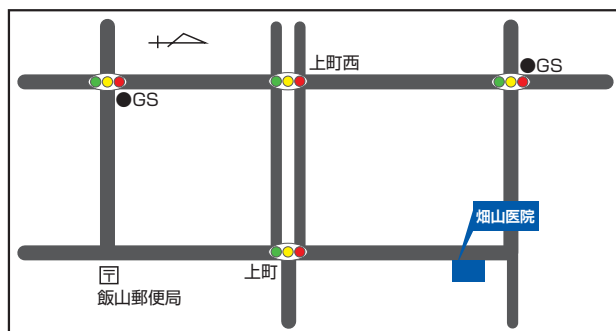
当院は、高血圧・糖尿病・高脂血症・心臓疾患・呼吸器疾患・消化器疾患を中心に、アレルギー性鼻炎や、小児の疾患も可能なかぎり診ており、各種予防接種も行っております。

また、総合病院にて検査及び治療の必要な方は、病院と医療連携し、紹介させていただいております。



待合室

診療時間のご案内	
診療科目	内科・循環器内科・小児科
診療時間	月～金 午前8:30～12:30 午後3:00～6:00
	土曜日 午前8:30～12:30
休診日	日曜日、祝祭日





寄付贈呈式

有限会社フィオーレ福社会様よりご寄付を賜り、令和3年8月12日当院において贈呈式が執り行われました。令和元年台風19号の際、避難のため施設利用者さんを当院で引き受けたことに大変感謝しているとお言葉を頂戴しました。ご寄付に感謝申し上げますと共に、今後も連携をしながら医療を通して地域に貢献してまいります。



患者さん相談窓口通信

「患者さん相談窓口」では、診療・看護、福祉、薬剤に関する相談など、様々なご意見・ご要望をお伺いし、その対応や改善に病院全体で取り組んでおります。

「患者さん相談窓口」は1階医療社会事業部を窓口にご意見・ご要望をお受けしています。直接話しにくいことがございましたら「ご意見箱」を設置しておりますので、そちらもどうぞご利用ください。



今回は、社会福祉に関する相談についてご紹介いたします。

病气やけがをすると、健康な時には考えていなかったような様々な困りごとが生じます。当院では、このような時医療ソーシャルワーカーがご相談をお受けしています。困りごとについて、お話を伺いながら、問題を整理し、どのような方法で解決していけるかを患者さんやご家族と一緒に考えていきます。

介護保険、障害者手帳、障害年金、医療費の手続きなどの社会福祉・社会保障サービスの活用をその方の状況に応じて提案し、必要に応じて院内職員・市町村役場・介護保険事業所・障害福祉相談窓口など、様々な関係機関とつながりながら、安心して治療に専念できる環境づくりのお手伝いをします。

今後も皆さまのご意見・ご相談をお伺いし、より良い病院づくりに努めて参ります。ご心配なことがございましたらお気軽にご相談ください。

世界アルツハイマーデー

9月21日は「世界アルツハイマーデー」です。

認知症になっても安心して暮らせる社会を目指して世界位各地でイベントが行われています。

当院ではアルツハイマーのメインカラーであるオレンジ色で心療内科の待合室を装飾し、認知症についての情報や当院の認知症サポートチームの活動を掲示して認知症への理解を深めるいい機会となりました。



飯山赤十字病院 外来診療担当医表 (令和3年10月1日現在)

診療科	備考		月	火	水	木	金	
発熱外来	※ 診察室は多目的施設		時間交代制	熊部 智章	時間交代制	熊部 智章	熊部 智章	
頭痛外来	※ 初診受付 13:30~14:30 再診 14:00~16:00			兒玉 邦彦 (診察室は脳外科)		飛永 雅信 (診察室は内科)		
内科	予約外受診担当(救急車を含む) ※ 診察室は救急外来		齋藤 俊信	富田 俊明	富田 俊明 (~13:30) 関口 智裕 (13:30~)	齋藤 俊信 (~12:00) 渡邊貴之又は花岡辰行 (12:00~)	渡邊 貴之 (~12:00) 花岡 辰行 (12:00~)	
	紹介・内科健診異常		福島 靖典	渡邊 貴之	花岡 辰行	富田 俊明	齋藤 俊信	
	再診		齋藤 俊信	齋藤 俊信	齋藤 俊信	山谷 秀喜	齋藤 俊信	
			福島 靖典	福島 靖典	福島 靖典	富田 俊明	渡邊 貴之	
			富田 俊明	渡邊 貴之	山谷 秀喜	花岡 辰行		
			古川 賢一		花岡 辰行	古川 賢一		
糖尿病					長澤 武志			
循環器科			齋藤 俊信	齋藤 俊信	齋藤 俊信	伊澤 淳	齋藤 俊信	
消化器科	外来	午前	初診	齋藤 俊信	渡邊 貴之	花岡 辰行	花岡 辰行	渡邊 貴之
			再診		渡邊 貴之			渡邊 貴之
		午後	再診		作村 美穂			高原 照美
	内視鏡	午前	上部内視鏡	花岡 辰行	花岡 辰行	渡邊 貴之	渡邊 貴之	花岡 辰行
				北信病院医師	竹中 一弘	平川 祐希	小松 裕	山田 重徳 (渡邊 貴之)
		午後	下部内視鏡 内視鏡治療 透視検査・治療	渡邊 貴之	渡邊 貴之	花岡 辰行	渡邊 貴之	渡邊 貴之
		花岡 辰行	花岡 辰行	平川 祐希	花岡 辰行	山田 重徳		
呼吸器科			熊部 智章		熊部 智章		安尾 将法 (受付11:00まで)	
心療内科 精神科	予約制		飛永 雅信	飛永 雅信 (午前・初診のみ)		飛永 雅信	飛永 雅信	
脳神経内科				金子 清俊 (予約制)		浦部 博志 (受付時間11:00~) (初診は12:00)		
脳神経外科			兒玉 邦彦 (13:30~15:30) (再診・予約のみ)	兒玉 邦彦	兒玉 邦彦(初診) 坂入 光彦(再診)		原田 博 (9:30~)	
小児科	木曜日は交替制		神田 仁	神田 仁		(神田 仁) (渡邊 直樹)	神田 仁	
外科			柴田 均	柴田 均	中村 学	柴田 均	柴田 均	
	内分泌(乳腺・甲状腺) 金曜日は交替制		中村 学	後藤 貴宗	後藤 貴宗	後藤 貴宗		(伊藤 研一) (清水 忠史)
整形外科			若宮 一宏	若宮 一宏	中西 芳応	若宮 一宏	中西 芳応	
			関 英子	中西 芳応	鈴木 賀代	(再診のみ)	安田 剛敏	
皮膚科			境澤 香里	境澤 香里	境澤 香里		境澤 香里	
泌尿器科			信州大学医師		非常勤医師 (紹介のみ)			
産婦人科				高野 宏太	今井 宗	倉石 美紗子	坂本 人一	
眼科			長谷川 敦俊	長谷川 敦俊	長谷川 敦俊	長谷川 敦俊	長谷川 敦俊	
			中村 恵子	中村 恵子	中村 恵子	中村 恵子	中村 恵子	
耳鼻咽喉科	受付時間 13:00~16:00 診療開始 13:30			信州大学医師			信州大学医師	

◆住所 〒389-2295 長野県飯山市大字飯山226番地1 TEL: 0269-62-4195 (代)
 ◆休診日 土曜日、日曜日、祝日、5月1日(日本赤十字社創立記念日)、12月29日から1月3日
 ◆受付 8時30分から11時30分(救急外来は24時間) URL <http://www.iiyama.jrc.or.jp/>